

鹿児島県日置郡東市来町方言の否定の表現

村上 敬一

I. はじめに

- (1) 調査対象地：東市来町は、薩摩半島のほぼ中央部にあって、南西を東シナ海に面する。県都鹿児島市より西北約27kmに位置し、平成7年8月現在、人口13,746人、世帯数 5,176戸、面積 70.99km²。
町の南西を国道3号線とJR鹿児島本線が南東に並走し、海岸部には国道270号線が通る。温暖な気候に恵まれ、湯田地区では千葉ロッテマリーンズの2軍キャンプが行われるほか、上市来地区では稲作、いちご・ぶどう・すいかのハウス栽培、伊作田地区では漁業が盛んである。また、湯之元温泉や薩摩焼でも有名である。
- (2) 調査年月日時：1995年8月20日（日）13時～16時
- (3) 話者：田中正美 1924年8月25日生 男（70歳）無職、町身障者福祉協会会長
- (4) 調査者：村上敬一 調査場所：話者宅
- (5) 調査方法・調査状況：調査票に従った面接調査を行った。なお、当地出身の松尾忠洋氏（県立伊集院高校勤務）が調査に同席した。
- (6) 表記方法：用例は片仮名で表し、アクセントは上昇下降を「↑」「↓」で示す。筆者の記述には*を付し、話者の内省は（ ）にくくる。

II. 調査結果

I 動作・作用の否定表現

1. 雨が降りそうだから、今日はどこへも行かない。 ①アメ「ガ」 フリ「ソー」ヤッ
「デ」 キュ「ワ」 ドケモ 「イ」カンド ②イコ「ゴ」チャネ *②のほうがより
主観的
2. 今日は、雨は降らないよ。 キュ「ワ」 ア「ミヤ」 フ「ラン」ガ
3. 今日はどこへも行きません。 キュ「ワ」 ドケモ 「イ」カン
4. 今日はどこへも行きはしない。 キュ「ワ」 ドケモ 「イ」カン
5. 先生は、今日、どこへもいらっしやらない。 シェンシェー「ワ」 キョー ドケ
モ イッ「キャ」ラン
6. 今日はどこへも行かなかった。 キュ「ワ」 ドケモ イカン「ニヤッ」タ
7. 今日はどこへも行きはしなかった。 キュ「ワ」 ドケモ イカン「ニヤッ」タ
8. 雨が降りそうだから、今日はどこへも行くまい。 アメ「ガ」 フリ「ソー」ヤッ
「デ」 キュ「ワ」 ドケモ 「イ」カンガ
9. 雨が降りそうだから、今日はどこへも出まい。 アメ「ガ」 フリ「ソー」ヤッ
「デ」 キュ「ワ」 ドケモ デ「ラン」ド
10. 今日は何もすまい。 キュ「ワ」 ナイモ 「セン」ド

11. 今日はたぶん雨は降らないだろう。 キュ「ワ」 「タ」ブン ア「ミヤ」 フラ
ンカ「モ
12. 明日はきっと雨が降るにちがいない。 ①アシ「ター」 マッゲナ「ク」 アンガ
「フ」ド
- ②アンガ 「フ」ジャロデ *①のほうがより強く確信
13. 今日は誰も来ない。 キュ「ワ」 ダイモ 「コン」ド
14. 今日は誰も来はしない。 キュ「ワ」 ダイモ キヤシ「エン」ド
15. 今日は誰も来なかった。 キュ「ワ」 ダイモ コンニヤッ「タ」ド
16. 今日は誰も見ない。 キュ「ワ」 ダイモ ミ「ラ」ン
17. 今日は誰も居ない。 キュ「ワ」 ダイモ 「オ」ラン
18. どこへも行かずにうちにいる。 ドケ「モ」 イ「カン」ジ ワガ「エ」
「オ」ド
19. わざわざ行かなくてもよい。 ワザ「ワ」ザ イ「カン」デン ヨ「カ」ガ
20. わざわざ行かなければよかった。 ①ワザ「ワ」ザ イ「カン」ニヤヨカッタ
②イカン「カ」リヤヨカッタ
21. どうしても行かねばならない。 イケンシ「テン」 イ「カン」ニヤナラン
22. どうしても行かねばならない。 まとめて言う言い方はない
23. ～ズ(ヤ・ジャ・ダ) この言い方はしない
24. こちらから行きもせず、むこうから来もしない。 コッチカイ 「イ」モセンニ
ヤ ムコカイ 「キ」モセン
25. その人の家に、明日も行くか行かないかわからない。 ソンヒ「ト」ン
イ「エー」 アシタモ 「イ」カ イ「カン」カ ワカ「ラ」ン

II 存在・状態・判断の否定表現

26. これだけしか無い。 コシコ「シ」カ ナ「カ
27. 今年のように暑い年は無いねえ。 コトイ「ノ」ゴッ ヌ「キ」トシャ ナ「カ」
ドネ *暑い=ヌクイ
28. 今年のように暑い年は、ありはしない。 コトイ「ノ」ゴッ ヌ「キ」トシャ ナ
「カ」ドネ
29. 今年のように暑い年は無かったねえ。 コトイ「ノ」ゴッ ヌ「キ」トシャ ナカ
「タ」ドネ
30. 今年のように暑い年は、ありはしなかった。 コトイ「ノ」ゴッ ヌ「キ」トシャ
ナ「カ」コッジャ
31. 今年のように暑い年は、もう無いだろう。 コトイ「ノ」ゴッ ヌ「キ」トシャ
モー ナカ「ロ

32. 暑い夏なんか無ければいいのに。 ヌッ「カ」 ナツチチャ ネ「ヤ」 ヨカ「ド
ン
33. 今日はあまり暑くない。 ①キュ「ワ」 ヌッサガ 「ヤン」ダ ②キュ「ワ」 ア
ン「マ」イ ヌキ「ナ」カ
34. 今日はあまり暑くはない。 ①キュ「ワ」 アン「マイ」 ヌク「ワ」ナカ ②キュ
「ワ」 キバイヨ「カ *キバイヨカ=気張いよか
35. 今日はあまり暑くなかった。 ①キュ「ワ」 アン「マイ」 ヌ「ク」ナカッ「タ
②キュ「ワ」 キバイ「ヨ」カッタ
36. 今日はあまり暑くはなかった。 キュ「ワ」 アン「マイ」 ヌ「ク」ナカッ「タ
37. 明日も暑くないだろう。 ①アシタ「モ」ヌ「ク」ナカ「ロ ②アシタ「モ」 スズ
シカ「ロ
38. 今日はあまり涼しくないねえ。 ①キュ「ワ」 アン「マイ」 スズ「シュ」ナ
「カ」ネ ②キュ「ワ」 マダ ヌキ「ネ
39. あまりにぎやかでない。 ①トジン「ナ」カ ②トデン「ナ」カ *①②とも漢語「
徒然」からの転成。
40. あまりにぎやかではない。 ①ニッギヤ「カ」デナ「カ ②トボ「レ」ン *トボレ
ンは、蠟燭の火が乏しい様子を表したもの
41. あまりにぎやかでなかった。 ①アン「マイ」 ハズマン「カ」ッ「タ/
②ハズマン「ニ」ャ「ッ」タ *ハズム=物事が盛大に行われる。にぎあう。
42. あまりにぎやかではなかった。 アン「マイ」 ハズマセン「ニ」ャ「ッ」タ
43. もう以前のようににぎやかではなからう。 ①「モー」 マエノ「ゴ」ッ「ハ「ズ」
マ「セン」ジャロ ②ムカシノ「ゴ」チャ ナカ「ロ
44. あれは花ではない。 ①「ア」ヤ ハナ「ワ」 「チゴ」ド ②ハナ「ジャ」ネ
「ド ③ハナ「ジャ」イモンカ(目上→目下)

Ⅲ 特定の慣用句による否定(不可・禁止)表現

45. (そんなことでは)いくらやってもだめだ。(不可) ①「ドヒ」コ 「ヤ」ッ「タ」ッ
チ ヤッ「セン」ド ②「ドシ」コ シ「テ」ン ヤッ「セン」ガ *ヤッセンにつ
いてはⅢ. 総括(まとめ)を参照のこと
46. あいつはだめなやつだ。(不可) 「ア」ヤ 「ボ」エド/「ボ」エヤ「ッ」ジャ
47. つまらないことを言うな。(不可) ワ「ヤ」 ホノネゴド 「ユー」ナ *ホノ
ネゴトについてはⅢ. 総括(まとめ)を参照のこと
48. 行ってはいけない。(禁止) 「イ」ッ「チャ」ナ「ラン」ド
49. そんな所へは行カレン。(禁止) (禁止の意味では言わない)
50. そんな所へは行くな。(禁止) 「ソ」ゲン トケニヤ 「イ」ッ「ナ

51. いたずらをするな。(禁止) ア「マン」ジャンメ 「ス」ンナ
52. そんな所へ行くもんでもない。 ①「ソ」ゲントコイ イン「モン」ジャナ「カ」
②イッ「キャ」ンナ
53. 暑くてたまらない。 ①ヌクシ「テ」 ノ「サン」 ②キバイ「キ」ラン *キバル＝
気張る
54. 雨がやむのを待っていてもしかたがない。 ①アン「ガ」 「ヤン」トー 「マッ」
チョッテン ヤッ「セン」ド ②イケン「ショー」モナカ
55. 遠くまで歩くのは楽ではない。 ①「トー」カト「コ」ズイ ア「ルッ」トワ ナン
ギ「ジャ」ナンギサ「ナ」 ②ヒトトーイジャ「ネ」ド
56. 遠くまで歩きたくない。 「トー」カト「コ」ズイ アユムゴ「チャ」ネ／アユムゴ
チャナ「カ」
57. 心配しなくても大丈夫だ。 シンバイ「セン」デン イケンモナ「カ」ガ

IV 否定の応答表現

58. いや。 ①ン「ニャ」 ②ウン「ニャ」 ③ンー「ニャ」
59. いや。(強い否定) ンー「ニャー」
60. いいえ。 イー「ヤ」
61. いや。(否定問いかけに対する応答) ①降った場合 ①ナーイ「ガ」 フッ「タ」ド
②ウン「ニャ」 フッ「タ」ド ②降らなかった場合 ①「ウン」 フランニャッ
「タ」ド ②「ウン」 フット「ラン」ド
62. どういたしまして。 ナ「イ」モ シモ「ハン」ジ

V 不可能の表現

63. 私はできない。 ソ「ゲ」ニャコチャ デ「ケン」
64. 読むことができない。(状況) ①ヨ「ミャ」ナ「ラン」 ②ヨ「マ」ナーン
65. 読むことができない。(能力) ヨ「ミャ」ナ「ラ」ン
66. こんなはでな服を着ては、街へ出られない。(心理的状況) 「コ」ゲン ハ「デ」
ナ 「フッ」オ 「キ」テ マチ「ニャー」 「イ」ケン
67. この茸は食べられない。 ①「コ」ン キンノコ「ワ」 クワ「レン」ド
②タベ「ラ」レンド
68. 忙しくて昼飯も食べることができない。 ①イソガシ「テ」 ヒル「メッ」モ ク
「ワ」ナラン ②クイダ「サ」ン ③ノサ「ラ」ン ④クワ「レ」ン

VI 反語・反発の強調表現

69. そんなこと、おれが知るものか。 ソ「ゲ」ニャコ「チョ」 「オ」ヤ シッ

「モン」カ

70. そんな所へ誰が行くものか。 ソ「ゲ」ナ「ト」ケ 「ダイ」ガ イッカ
71. そんな所へなんで行くか。(行くものか。) ソ「ゲ」ナトケ ナイ「ゴ」テ イ
ッカ
72. なんて恥ずかしいものか。(なんて恥ずかしからうか。) ナイ「ガ」 ゲンネコ
ッガ 「ア」ッ「カ」
73. 行かないでおるものか。(行くとも!) 「ダイ」ガ ナンチュ「テン」 「イ」ッ「
ド」
74. それがお前にやれるか。 ①「ソイ」ガ ワイニ デクッ「モン」カ
②デ「ケン」ガ
75. そんなにいやならシテイラン。 「セン」デンヨ「カ」 (シテイランは言わない)

Ⅶ 特定の副詞の関わる否定表現(付. 否定形式の見られる特定副詞)

76. 暑くて仕事が少しもはかどらない。 ヌクシ「テ」 シ「ゴ」ッ「ガ」 ヒトン「モ」
デ「ケ」ン
77. 仕事がぜんぜんできていない。(ぜんぜん～ない) シ「ゴ」ッ「ガ」 イッ「チョン」
デケトラン
78. 雨がいっこうに降らない。(いっこうに～ない) ①ア「ミヤ」 ドヒ「コ」マッ
「テン」 フ「ラ」ン ②「ヒト」ッ「モ」 フ「ラン」
79. 今年も雨があまり降らない。(あまり～ない) コ「トイ」モ アン「ガ」 アン
「マ」イ フ「ラン」
80. 芋が(予想外に)たくさんとれた。 ① イモ「ガ」 カンゲヨッ「カ」 ウカッ
タ ② ヒッタマガッシ「コ」 ドッサイアッタ

Ⅷ その他の否定形式の関わる諸表現

81. わざわざ行かなくてもいいではないか。 ワザ「ワ」ザ イ「カン」デン ユワネ
「カ」
82. わざわざ行かなくてもいいのではないか。(「エーノントチャウカ」は言わない)
83. わざわざ行かなくてもいいかもしれない。 ワザ「ワ」ザ イ「カン」デン ヨカ
カ「モ」
84. いっしょに行かないか。 ①イッショ「キ」 「イ」コヤ ②イカン「カー」
85. これを持ってくれないか。 「コ」ヨ モック「レン」カ
86. これを持ってくれませんか。 「コ」ヨ モッ「テ」 クイ「ヤン」セ
87. これを持って下さいませんか。 「コ」ヨ モッ「テ」 モ「ハン」カ
88. 早く行かないと。(～行けば。)(勸奨) ハヨ 「イ」カンカ

Ⅲ. 総括(まとめ)

調査対象地域である東市来町の動作・作用の否定表現形式は、主に、西日本で広く行われる「～ン」(～ない)の形式をとる。また、存在・状態・判断の否定表現は、肥筑方言域から薩摩地方に広く行われる「～ナカ」(～ない)の形式をとる。それらに、文末助詞の「ド」「ガ」(標準語の「～ぞ」にあたる)が特定の付加されることで、話し手の強勢の心持ちがより明示的になる。

動作・作用の否定表現の打ち消し過去(6. および7.)の言い方で、「イカンニャッタ」が現れる。『九州方言の基礎的研究』(1969)の老年層の言語地図では、薩摩半島南端の坊津、大隅半島の南端に近い内之浦、屋久島の上屋久など薩隅方言域の周辺域に現れる形式である。東市来町と同じ日置郡の郡山町では、直音化した「イカンナッタ」、海寄りの日置郡吹上町では「イカンジャッタ」である。また、『かごしま弁 南九州の言葉と風土』(1984)では、鹿児島方言における打ち消し過去の表現の世代差について指摘している。中年層以上では「イカンジャッタ(ヤッタ)」「イカンニャッタ(ナッタ)」となるのに対し、若い層を中心に「イカンカッタ」が観察されるということである。『九州方言の基礎的研究』(1969)の若年層の言語地図でも、郡山町や吹上町は「イカンカッタ」である。

16. で「見ない」が「ミラン」となる、いわゆるラ行五段化傾向は、薩隅方言域では特に盛んなものである。『九州方言の基礎的研究』(1969)の老年層の言語地図でも、肥筑方言域では「オキン」と「オキラン」(起きない)が混在するのに対して、薩隅方言域では前出の坊津以外は「オキラン」一色である。

特定の慣用句による否定表現には、もっぱら否定の言い方のみが慣用化した45.54.の「ヤッセン」(役に立たない・だめだ)、53.の「ノサン」(たまらない)などの形式をみることができる。また、46.の「ボエ」(標準語の「ぼやぼや」と同意で、駄目な奴の意)や47.の「ホネゴト」(「つまらないこと」の意で穂の無言、方の無言、法の無言など諸説ある)の言い方も目を引く。

不可能の表現では、状況不可能・能力不可能ともに、動詞連用形名詞+「～ワ」「～ガ」+「ナラン」(成らない)の形をとる「ヨミヤ(マ)ナラン」(64.65.)「クワナラン」(68.)が行われる。熊本県南部の球磨郡、葦北郡に連なる形である。肥筑方言域にみられる、動詞連用形+「キラン」(できない)の形をとる能力不可能の「ヨミキラン」「クイキラン」などは、当地では観察されない。

反語・反発の強調表現には、反語の文末助詞「カ」「ド」が付加されて、話し手の反発の心意が強められる。

今回の調査結果をみるかぎり、東市来町方言の否定表現には、概して伝統的な薩隅方言の形式が保たれているといえる。しかしながら、今回の調査は老年層お一人を調査するにとどまった。共時的体系や、世代差などの位相差を記述するには、これで十分とは言えな

い。

これから、東市来町方言がこの地方の中核都市である鹿児島市の方言や、標準語の影響をどのようにうけるか。また、世代差も大きいことが予想される。九州をフィールドとして調査・研究を進めていく者として、今後の課題も多いと実感している。

【参考・引用文献】

- 牛留致義（1991）『「かごしま語」の世界』 春苑堂出版
九州方言学会（編）（1969）『九州方言の基礎的研究』 風間書房
瀬戸口俊治（1987）『南九州方言の研究』 和泉書院
南日本新聞社（編）（1984）『かごしま弁 南九州のことばと風土』 筑摩書房

（付記）

今回の調査では、当地出身で、広島大学・町博光先生のもとでともに学んだ松尾忠洋氏にいろいろとお世話や適切な助言を頂きました。ここに記して感謝申し上げます。

（むらかみけいいち 大阪大学大学院）